

# 車線運用の変更 中央道 上り線 小仏トンネル手前

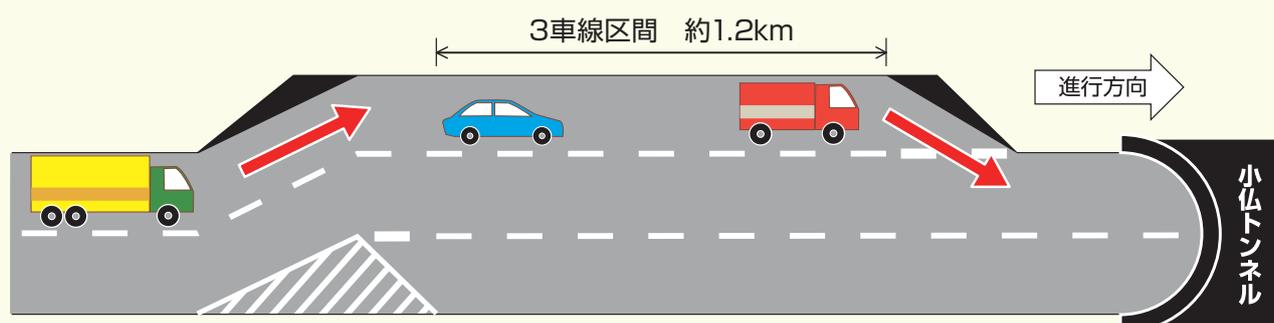


## 一部区間 3車線に変わります 走行にご注意ください

変更日 平成24年3月14日(水) 午後3時 ※雨天等により工事時期が変更(順延)になる可能性があります。

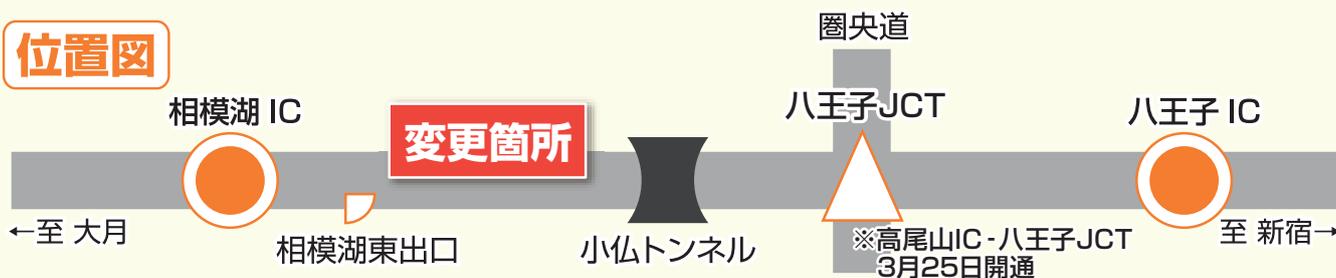
### 登坂車線が**走行車線**に変わります

【参考】現在の車線運用 ▼



※この模式図の車線シフトはイメージであり、実際は無理なハンドル操作をすることなく走行できます。

#### 位置図



車線運用区間を走行する際の注意点は裏面をご覧ください。➡

お問合せ先: 【本件に関するお問合せ】中日本高速道路(株) 八王子支社 tel: 042-691-1171 (代表・平日9:00~17:00 受付)  
【その他高速道路全般に関するお問合せ】NEXCO中日本お客様センター tel: 0120-922-229 (通話料無料・24時間受付)

# 車線運用区間を走行する際の注意点

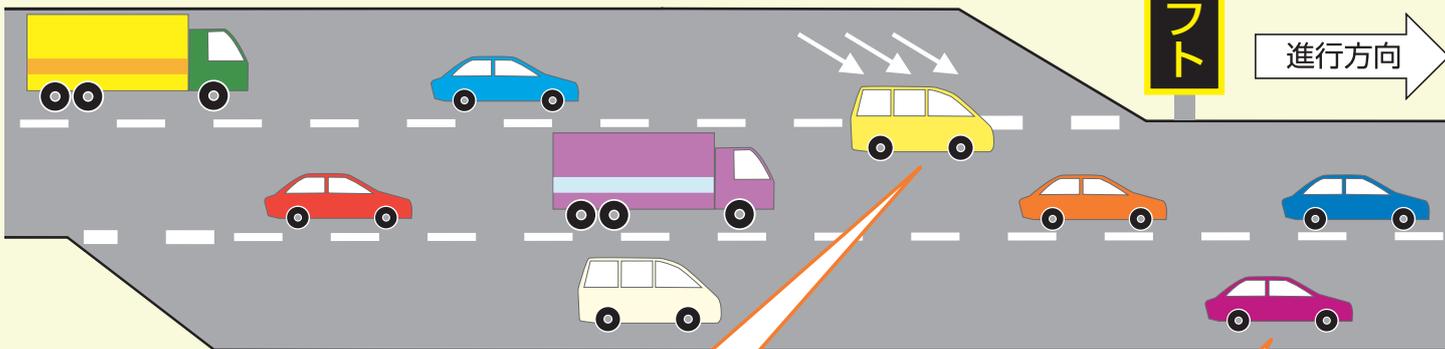
## この先合流!

この標識が見えたら右側車線への合流の準備をしてください。



キープレフト

進行方向



## 合流は交互に!

3車線区間終端部では、お互いにゆずり合って合流してください。

## 車線変更は控えめに!

合流後の車線変更は渋滞、事故の原因となりますのでキープレフト走行にご協力をお願いします。

## なぜこの車線運用をするの? 車線運用の目的と期待する効果

### 1. 渋滞を起きにくくします

交通量が多くなり混雑してくると、少しでも速く走ろうと追越車線に車が集中し、それが渋滞発生の要因の一つとなっています。

今回の車線運用の目的は渋滞発生の抑制を図るものであり、従来登坂車線としてご利用いただいていた車線を走行車線として運用(表図参照)することで、追越車線に車が集中しないようにするための車線運用です。

### 2. 渋滞の規模を小さくします

渋滞が起きにくくなることにより渋滞している時間・距離が短くなり、渋滞に巻き込まれる車が少なくなります。

### 3. 相乗効果をもたらします

渋滞が少なくなると、渋滞中の事故の減少、またCO<sub>2</sub>排出量の削減など、さまざまな相乗効果が期待できます。

## お客さまへのお願い

お客さまのちょっとした気遣いで、渋滞を緩和し快適なドライブにつながります

### 速度を低下させない

上り坂に差しかかると、気が付かないうちに速度が低下し、車間距離が縮まるため、後続車が次々とブレーキを踏んで、渋滞が発生します。上り坂では、速度を低下させないように注意しましょう。

### 車間距離をつめ過ぎない

車間距離をつめ過ぎると、前の車の速度低下で後続車が次々とブレーキを踏んで渋滞が発生します。余計なブレーキを踏まないように十分な車間距離をとって走行しましょう。

### 追越車線に集中しない

混雑してくると、少しでも速く走ろうと追越車線に車が集中します。その影響で車間が縮まり、そのまま上り坂やサグに差し掛かると、追越車線から先に渋滞が発生しやすくなります。

また、渋滞中における必要以上の車線変更は更なる渋滞の悪化を招きます。